

議事録署名人：小野晃歳

書記：花田諭

議事進行：清水基允

参加者（出席者✓、委任者に委）

最高顧問 □ 稲川素子 顧問 □ 山田博明 □ 富田圭潤

顧問弁護士 □ 正田光孝 顧問税理士 ✓ 池田奈智

✓ 清水基允 ✓ 中嶋秀樹 ✓ 森脇健司

委 大下修弘 ✓ 井川まゆみ ✓ 樋口暢哉

✓ 花田諭 ✓ 西尾浩一 ✓ 木下聡明 □ 近藤誉仁

委 朝増拓哉 ✓ 貫名強

✓ 山崎博道 ✓ 加治屋貴士 ✓ 上脇友季湖 ✓ 片山雄暉 ✓ 毛塚陽康

委 小林恒路 ✓ 橋本悠 □ 増山誠記 □ 松岡佑紀

✓ 末安祐一郎 ✓ 小野晃歳 ✓ 新井健伊稚 ✓ 石川浩之

✓ 斉藤達哉 ✓ 菅野純代

✓ 正藤隆史 ✓ 荒木康孝 ✓ 三信真樹

JBDF九州 大井賢一

#### 【各選手会からの現状報告】

##### ●EJBDF選手会長 清水基允より

1月30日にオンライン競技会が予定されています。

1月31日に新春プレミアムボールを予定していますが雲行きが怪しくなっています。

1月31日に選手会総会を行う予定です。

2月に予定されていたムーアカップが延期になりました。

来年は小林先生が選手会長になります。

##### ●JCDC会長 森脇健司より

1月17日 東部総局競技会、2月21日にJDC全日本戦が予定されています。

例年行っており1月31日に予定されていた新春ダンスパーティーはキャンセルとなりました。

1月31日に選手会総会をオンラインで行います。

##### ●JPCL会長 中嶋秀樹より

1月24日と2月21日に競技会が予定されています。

3月14日にユニバーサル選手権が予定されています。

1月31日に選手会総会をオンラインで行います。

#### 【各部報告】

##### ●経理部（正藤隆史部長）

通常業務を行いました。

## ●総務・統括部

統括担当：西尾浩一

オンラインで行う合同ブロック会議の準備を進めています。

一般会員の方々にも連絡をしています。12日の参加は10名の参加回答、15日は9名の参加回答という状況です。当日様々な意見を聞くことが出来ればと思っています。

執行部の先生方には両日共に参加していただきます。

### 【会議の流れ】

- ・ ABDCの現状について
- ・ 競技会について
- ・ DANフェス!について
- ・ NDCJへの意見（競技会についてと重複?）
- ・ 質疑応答

人数が少なければ各参加者に意見を聞いていくこともできるかと思います。

更に参加を促していただくよう改めて連絡を回します。

## ●企画・事業部（山崎博道部長）

DANフェス!2020のプロフェッショナルショーをアーカイブで残し、応援金が少し増えたので赤字の軽減になりました。

応援金の受付は締め切りました。

## ●渉外・広報部（末安祐一郎部長）

今月中に会議を開き賛助会員に提供するサービス（動画）について詰めていく予定です。

### 【その他】

## ●NDCJ管理委員会報告

日本インター、大阪インター、ユニバーサル選手権、ギャラクシーマスターズのシラバスの確認が行われ承認されました。

テレビ東京が1月11日にバルカーカップを放映するので選手も宣伝して欲しい。

ABDCからNDCJに要望書を提出しました。

JDCの現状について

JDCは前回の管理委員会の際にはまだNDCJへの登録を行っていませんでした。継続登録申請をする方向ということでしたが、その後行われたJDCの緊急理事会において、WDOに加盟することが決議されました。

未確認ですがJDCはNDCJに登録をしないのではないかという状況です。

委員会の中では、JDCがWDCから抜けたとしても、なんとか国内の今の状況を維持していく方向でやっていきたいと思いますというお話は出ていましたが、JDCの今回の決定を受けて今後どのような方向でいくのかという状況になっています。

JDC全国選手会(JCDC)としても改めてJDCに、選手に不利益のないようにしていただきたいこと、国内他団体との協力関係を継続していただきたい旨の要望書を提出しました。

役員はWDOのみの登録となり、選手についてはWDCとWDOの二重登録が可能とのこと。今後も情報があれば共有していきます。

#### ●ABDCの今後の方向性について

今から今後について話しておかないと、ABDCも分解ということになりかねない。各選手会執行部で話し合いを行った時は、どのような状況になってもまとまっていようという意見交換は行っていたが、今後どのように変わっていくか改めて良く考えていかなければならない。世界は分かれてしまったが、どちらも競技会を行うことが出来ていないため不透明な状態。統一全日本戦は3団体があってこそ盛り上がるという面もあるので、そのような競技会は継続して行っていただきたいという意見もある。

顧問弁護士の正田先生より、選手会から何か提出する際にはご助力いただけるとのお話がありました。

#### ABDCの目的・理念

競技ダンスの魅力を発信し、豊かな社交ダンス文化の普及・振興及び発展に寄与する

選手生活の活動環境向上に寄与する

競技会は分かれてしまうかもしれないが、ABDCとして選手が集まっているだけでも意義あることではないか。

今のような困難な時には、集まることを維持するだけでも意味があるのではないか。

今後の様子を見なければ今はアクションを起こせない。

JBDFとJCFは全く動きがない状況なので、次回のNDCJ管理委員会にて正確な情報をいただかなければ。

過去にバルカーカップにJBDFの選手がJBDFとは異なる団体の所属として出場するということがあったので、JDCの選手もそのような形で出場する権利を守るということがあるかもしれない。

2月21日開催のJDC全日本はシラバスの変更が行われ、NDCJの後援が無い状況。

コロナ禍や業界内の分裂問題など難しい状況の中で、ABDCとして何が出来るのか改めて考えるべき時ではないか。

#### ●新体制について

出向メンバーは各団体10名ずつで良い。

#### ●1/18開催NDCJ管理委員会出向者選出

中嶋，森脇

次回会議予定 2月2日 22:00よりZoomにて

議事録署名人

小野晃歳 